

広報

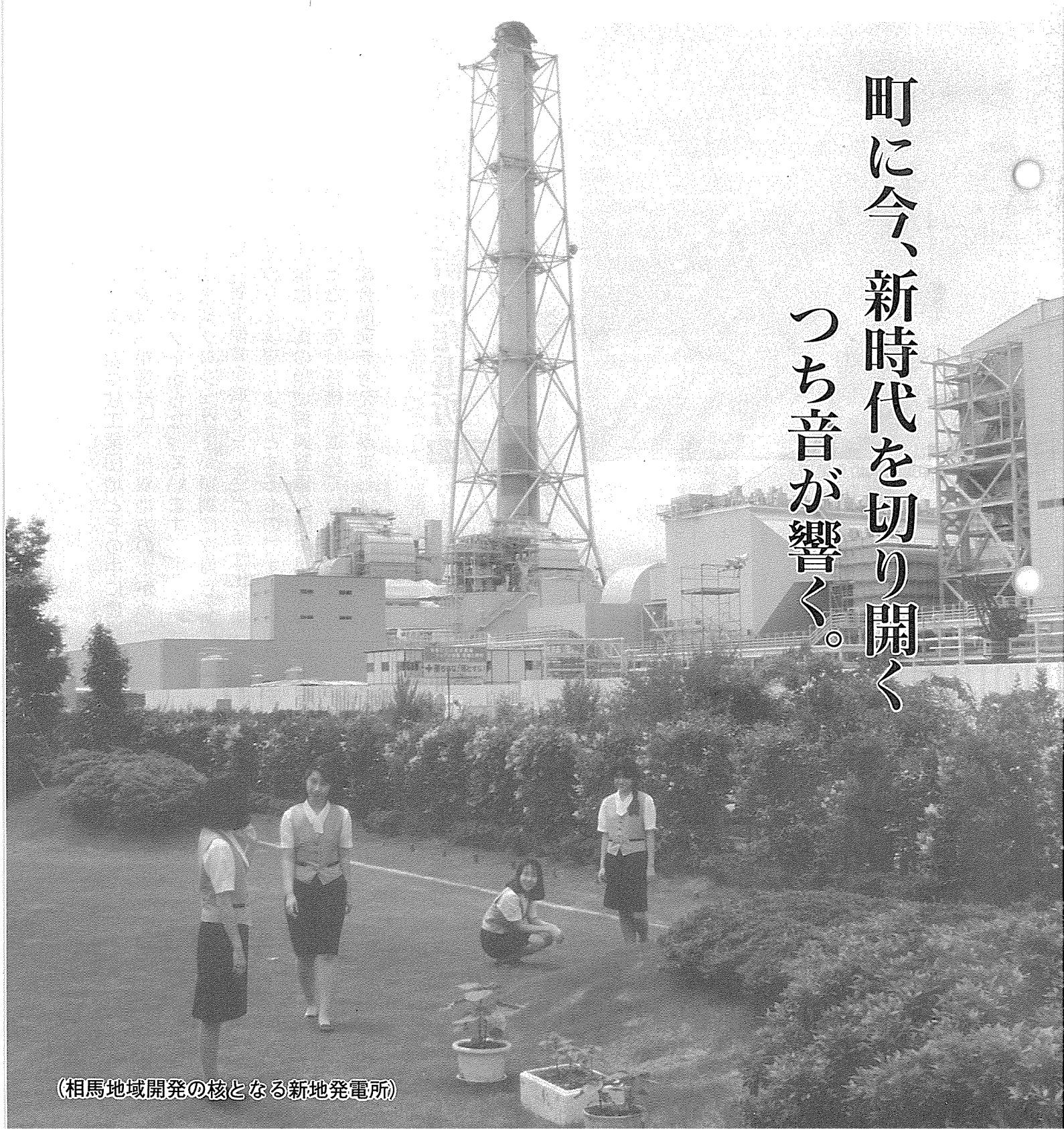
しんち

8

1993.No.266

発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244(6)2111）

町に今、新時代を切り開く
つち音が響く。



(相馬地域開発の核となる新地発電所)

畠山美雪保健婦

そんな私がバレーを通して

学んだことは、二つあります。

一つは、友達に対する接し

方、もう一つは、素直な心の

大切さです。

七月十一日、浪江小体育館で私たち福田エンジエルはいそべ白波クラブと試合をしました。決勝進出をかけ、試合はおたがい一步もゆずらない

という、ラリーが続きました。

○で得点は取ったものの、一対

う一点追加がほしい」とチー

ム全体にあせりがみえはじめ

ました。「よし今度こそなん

とかひろって私がきめてやる

と思つたしゅん間、相手チー

ムのサーブが私のところにと

んできたのです。私の体は気

持ちとは反対でかたり足

はまつたく動けなくなつてしま

いました。ピー。一対一。

とうとう相手に点を許してしまつたのです。それからです。

みんなの調子がくずれ、レシー

ブミスが増え、サーブも入ら

なくなり、どんどん差が広がつ

ていきました。「ああ。私の

心のかたすみで思いはじめて

いました。そして、ついに相

手があと一点でゲームセット

私はスポーツ少年団の福田小六年生部に入っています。三年生の時なんとなく入部しましたが、六年生になり、今はキャブテンという責任ある立場で毎日二十一人の友達と練習にはげんでいます。

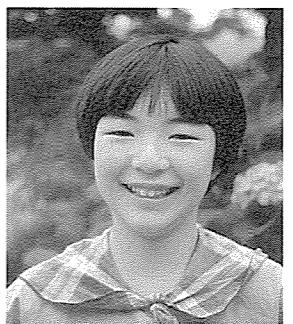
これまで、たくさんの友達と出会い、また社会に出てからもさまざまな人達と接することがあります。そして、素直に相手の話に耳をかたむけられること

方向に考えていくいたいと思いつきました。私は自分と気が合わないなんて決めつけず、自分からいい方向に考えます。そして、素直に相手の話に耳をかたむけられること

が、もつともっと心の大きな差距があります。Cさんにとって、あの試合の一言はチーム全員へのほげましの言葉だったのかもしれません。でも、私にとって、あの一言はたくさんのことを見ました。なんとなく煙たいと思つていた友達にはげまされたことで、私はもつと周りの声に素直に耳をかたむけるようになります。学級でも今までなんでも人の人は私の言うことと反対のことばかり言うの、いやな人と思っていたのも、今まで

新地町青少年健全育成町民会議が七月二十四日、農村環境改善センターで開かれ、小・中・高校生六人が意見発表をしました。

その中から、野地智美さんの意見発表を紹介します。



バレーボールで学んだもの

野地 智美さん

(福田小六年)

衆議院福島県選出議員補欠選挙 (最高裁判所裁判官国民審査)



▲一斉に開票

衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査、参議院福島県選出議員補欠選挙が七月一八日の日曜日、小雨のぱらつくなか町内八ヵ所の各投票所で行われ、同夜、農村環境改善センターで一斉に開票結果は次のとおりです。

【衆議院議員総選挙】			
田中なおき	2,512票	鈴木さとう敏彦	89票
こはた弘道	1,867票	太田豊秋	3,836票
佐藤かつろう	1,150票	飯村微光	395票
坂本ごうじ	57票		

【参議院補欠選挙】			
牛乳	1/2本	ヨーグルト	1/2カップ

牛乳1/2本、ヨーグルト1/2カップ、卵黄一個、はちみつ大さじ一杯、バニラエッセンス少々をミキサーにかけ、よく冷やしてからレモンの輪切りを浮かします。あなたもためしてみてください。

コップ1杯のドリンクでストレスにアタック！

んでいる私たち、あのCさんの言葉が耳に入ってきたしゅん間「よし、レシーブあげるから、みてみな」という気持ちがわき上がってきたのです。その後、チーム全体にも「ドンマリ、次ね」という声がでて、さつきまでミスすると責任のなすりつけるような目でいたのがウソのように変わつていったのです。そして、私たちなんど、みると十四対九まで追い上げたのです。反撃はここまで私たちには負けてしましました。しかし、私はこのバレーの試合で一度あきらめかけていたのが、Cさんの一言で「がんばろう」という気持ちになれたことで、いろいろなことを考えるようになりました。Cさんは対する考え方も変わるようになります。考えた。なんとなく煙たいと思つていた友達にはげまされたり、宝物を一つでも多く増やせたらいいと思います。

では私の考えすぎ、素直に「そういう考え方もあるのよね」と思えるようになり、あまり気にすることなくなりました。これから大人になっていくまで、たくさんの友達と出会い、また社会に出てからもさまざまな人達と接することがあります。そして、素直に相手の話に耳をかたむけられること

が、もつともっと心の大きな差距があります。Cさんにとって、あの試合の一言はチーム全員へのほげましの言葉だったのかもしれません。でも、私にとって、あの一言はたくさんのことを見ました。考えた。なんとなく煙たいと思つていた友達にはげまされたり、宝物を一つでも多く増やせたらいいと思います。

●衆議院議員総選挙

投票所	有権者数	投票者数	投票率
農村環境改善センター	1,298人	1,054人	81.20%
岡公会堂	840人	706人	84.05%
大戸浜公会堂	955人	795人	83.25%
駒ヶ嶺公民館	1,298人	1,111人	85.59%
菅谷公会堂	555人	477人	85.95%
勤労青少年ホーム	983人	810人	82.40%
作田公会堂	501人	424人	84.63%
今泉公会堂	256人	223人	87.11%
合計	6,686人	5,600人	83.76%

が強ければ強いほどこの反応も強くなりますので、良質のたん白質を十分とることが必要です。

③精神の安定をはかるカルシウムも大切。

④ストレス時は交感神経の働きが強くなっているので、精神安定をはかるためにも十分なカルシウムの摂取が必要です。

⑤ビタミンCの補給も十分に。ストレスと最も深い関係にある副腎は、体内でビタミンC濃度が低下します。ストレスの予防・回復にはビタミンCの十分な摂取が望まれます。

⑥ストレス時は筋肉や血液のたん白質が分解し燃焼してしまいます。ストレス

ザ・フォト・スクランブル

納税の推進誓う

町納税貯蓄組合連合会総会

平成5年度の町納税貯蓄組合連合会総会が6月29日、相馬市の厚生年金松川浦荘で開かれました。

初めに3年以上納税組合長を努めた三浦幸さん(大山田)、渡辺義光さん(大山田)、水戸四郎さん(岡)、早坂勝雄さん(大戸浜)、浜野利久さん(大戸浜)に感謝状が贈られました。

出席者は、納税の推進を誓い合っていました。



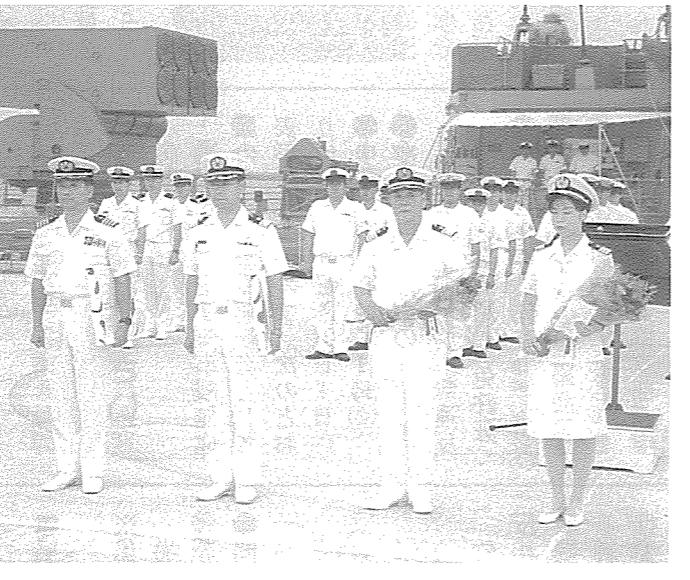
新地高校が東北大会へ

第38回全国高校軟式野球選手権大会が、7月22日に開幕しました。

新地高校は初戦昨年度優勝の浪江津島高校、二戦目双葉高校とともに延長戦で破り、決勝戦平工業高校に敗れ準優勝となつたものの、東北大会出場が決まりました。畠山熙一郎教頭、三條敦部長、同高野球部員11人が7月26日、荒町長へ出場報告を行い、「丸山尚士キヤブテン」が「東北大会で全力を尽します」と決意を披露し、荒町長が激励金を贈りました。



荒町長が「一日司令」



海上自衛隊護衛艦「あやせ」入港

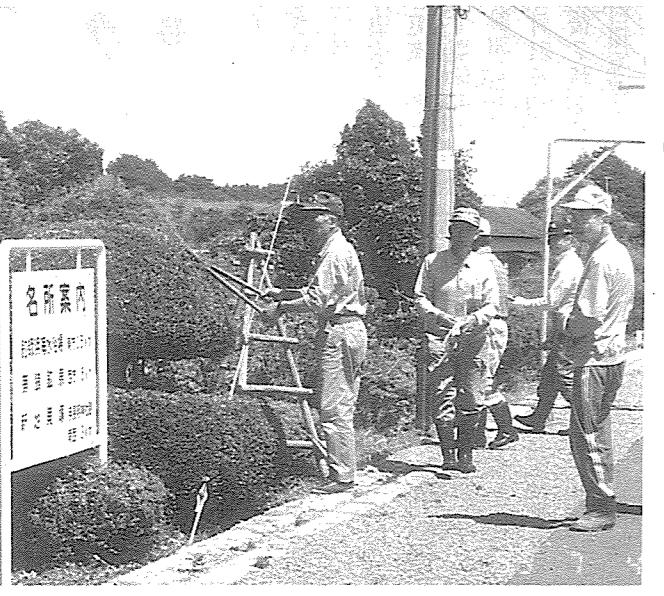
海上自衛隊護衛艦「あやせ」が7月16日、相馬港に入港し、翌17日、荒町長が「一日司令」、荒久美子さん(町職員)が「一日艦長」に委嘱されました。相馬港に入港した海上自衛隊の護衛艦「あやせ」は17日、艦内が一般公開され、荒町長司令、荒久美子艦長の「出港」命令のもと、体験航海が行われました。体験航海は、3回にわたり行なされました。延べ千人の家族連れが約1時間の航海を楽しみました。

新地・駒ヶ嶺駅清掃

国鉄OB会

国鉄OB会相馬支部新地地区(代表伊藤愛吉)が7月4日、新地・駒ヶ嶺駅周辺の奉仕作業を行いました。

会員22人が参加し、駅周辺の草刈り、生け垣や植木の刈り込みなどを丁寧に行い、駅の美化に努めました。佐藤JR相馬駅長が差し入れを持参し労をねぎらいました。新地駅の太田弘さんは「管内で奉仕作業をしているのは新地地区だけで、とても感謝しています」と話していました。



ガソリマス、ヨロシク

町英語指導助手オルターさん来町

新地町独自の英語指導助手、マイケル・オルターさん(22歳)が7月22日、前任者のケリー・キャンデスさんとともに町を訪れ、荒町長にあいさつをしました。

オルターさんは米国フロリダ州出身で、ノースカロライナ州ディビットソン大学を卒業したばかり、夏休み明けから尚英中学校専任で英語を指導します。スペイン留学の経験もあり、国際交流や日本語、日本文化に関心を持っています。

オルターさんは「町の人はすごく親切。火発には驚きました」と話していました。

なお、ケリー・キャンデスさん(写真右)は、鹿島町専任となります。



廃油で石けん作り

公民館婦人学級

公民館主催の婦人学級では7月22日、農村環境改善センターで廃油を使って石けん作りを行いました。「河川浄化は主婦が台所から」と、水きり袋の使用など環境保護の研修などに取り組んできた主婦の皆さんのが、今度は廃油を捨てないで再利用しようと石けん作りに挑戦したものです。

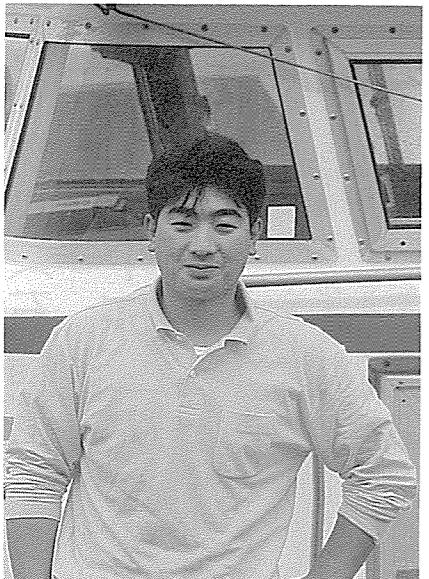
廃油を使った石けんは、廃油を流さないので河川の汚染を防げ、人体にもよいとあって、一石二鳥。

参加した25人の主婦の皆さんは、この運動を各地域に広めていこうと熱心に学んでいました。

The Photo Scramble



頑張るマン

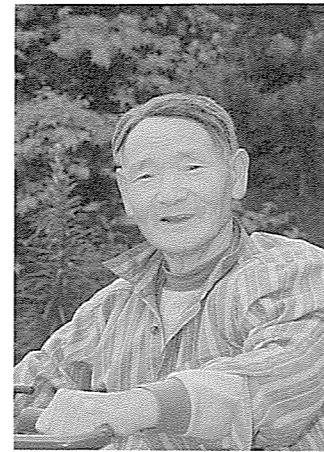


荒 敏裕さん(20歳・釣師)

誰にも負けない
船乗りになりたい

荒 資農夫さん(80歳・木崎)

短歌に生きがい



♥ハツラツおじいさん♥

13歳から今まで欠かさず日誌を書いて来たという資農夫さんは、2年前から短歌を始めました。「つねにエンピツとメモ帳を持って、思いついたらそくざに書きます。自分の思いを歌にするのが大事で、人真似は駄目ですね」

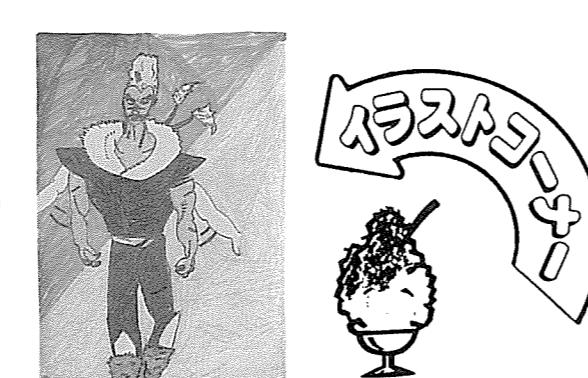
健康の秘訣は良く噛んで食べ、暴飲暴食はない、晩酌はコップ半分程度だそうです。

家のすぐ裏の畠で、資農夫さんが専門にキュウリ、ニンジン、スナックエンドウ、むきピースなど季節ごとに数種類の野菜を作っています。そんな畠仕事の中からも資農夫さんのキラリと光る作品が生まれてくるのです。

朝早くスナックエンドウ摘みに来て
見事に咲きし檜の花見つ

荒敏裕さんは、高校を卒業後、実家の幸生丸(六・六・ト)で漁船員として第一歩を踏み出しました。父親で船長の寛幸さんは、おじの寺島正志さん(大戸浜)の三人で同じ船で仕事をしています。船に乗って三年目になる敏裕さんは「幼いころから船に乗ろうと思っていた。漁業はやればやつたりに結果が出るからいい」と動機を話していました。

「仕事はつらい時もあるが、遊ぶときは遊ぶ」と話す敏裕さんは二十歳の若者の顔でした。車、音楽鑑賞、野球と余

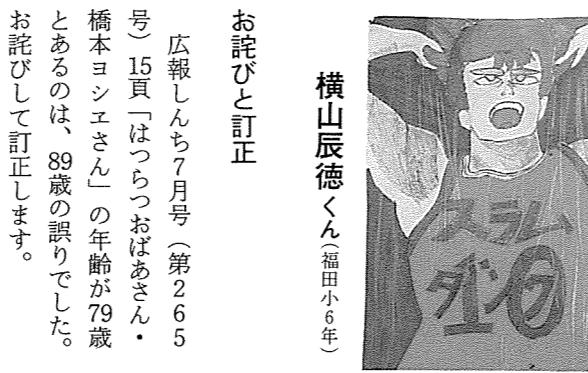


荒 功くん(福田小5年)

暇をエンジョイしています。
「休みも多くなったり、やり繰りすれば、オカと変わらない労働条件になる」

今のシーズンは、タコやツブ漁ですが、先月二十七日、タコ漁をしている時、タコカゴにメカマグロがかかっていました。体長四寸、体重百二十キロもありました。「こんなことは、初めて。三人で一時間ばかりで引き上げた」とその情景を思い浮かべながら話していました。

そんな敏裕さんにも悩みがありました。同年代の友人と話



お詫びと訂正

広報しんち7月号(第265号)15頁「はつらつおばあさん・橋本ヨシエさん」の年齢が79歳とあるのは、89歳の誤りでした。お詫びして訂正します。

しても、話題が合わないことです。「向こうは会社の話、こっちは海の話。海の上で見た朝日はめちゃくちゃきれいだ、なんて話しても向こうは見たことがないから分からぬ」と苦笑い。

漁業環境が厳しくなった昨今、就業者の高齢化、後継者不足の深刻になっていますが、敏裕さんは「好きでやつてる仕事。やる以上、誰にも負けない船乗りになりたい」と心に誓っていました。船で働く敏裕さんの背中がたくましく見えました。

☆ ポーツの好きな人
○ 有名人で言えば
☆ うーん、強いて言えばママリノスの井原か、ユニコーンの民生。
○ 今、一番の関心事は手話のサークルに入っているのですが、学生時代と違つていろいろな層の人たちと出会えて良い勉強になります。

☆ お勤めはどちらですか。
☆ 日通航空です。
○ 趣味はですか。
○ お勤めはどちらですか。
☆ テニスと映画鑑賞。
○ 最近一番の映画は。
☆ ジャック・サマース・ビー!
○ 一緒にいて楽しくて、ス

☆ さっぱりして、明るくて、ちょっとぬけてる(笑)。
○ 理想の男性のタイプは。
☆ 一緒にいて楽しくて、ス

☆ 町に対して一言。
☆ 海と山に恵まれ、のどかでいいところだけど、もつと福祉の充実した町にしてほしいです。
○ 最後にあなたの夢を。
☆ 日本全国をまわって、その土地のおいしいものを食べ歩いてみたいです(笑)。(ありがとうございます。)

☆ ハーモニーが流れています。会員数二十八人。新地町お母さんコーラスの皆会員の門馬キヌ子さん(中島)は、この会の楽しさを、声を出すことで爽快な気分になりストレス解消が図られます。発表会などがあると、目標を持つて過ごせますし、なによりも会員とのコミュニケーションが楽しみです」と練習の様子を思い浮かべながら、楽しそうに話していました。長く続いた理由は、和気あいあいとした会の雰囲気と無選別・無欠席で指導してくれた立谷登喜雄先生(相馬市)のお人柄とか。同会では、春に花見を兼ねて屋外練習や、イチ

岡元妙子さん(鉄炮町)

S47.6.20生・血液型 AB型・双子座岡元さんは、今年、短大を卒業し4月に勤めたばかりのフレッシュレディ。勤め帰りの新地駅構内で、仕事の疲れもみせず、快活に話してくれました。

輝けハーモニー

新地町お母さんコーラス

グループ紹介⑤

今回は、結成十二年、「新地町お母さん」

「ラス」を紹介します。



▶聴衆も美しいハーモニーにうつとり

会員の門馬キヌ子さん(中島)

は、この会の楽しさを、

声を出すことで爽快な

気分になりストレス解消

が図られます。発表会な

どがあると、目標を持つて過ごせますし、なによ

りも会員とのコミュニケーションが楽しみです」と

練習の様子を思い浮かべながら、楽しそうに話していました。長く続いた理由は、和気あいあいとした会の雰囲気と無選別・無欠席で指導してくれた立谷登喜雄先生(相馬市)のお人柄とか。同会では、春に花見を兼ねて屋外練習や、イチ

お詫びください。

皆さんの声を

お寄せください

『町民のひろば』は、町民の歌声です。昭和五十七年に結成し、今年で十二年に

なります。会員数二十八人。

会員の門馬キヌ子さん(中島)

は、この会の楽しさを、

声を出すことで爽快な

気分になりストレス解消

が図られます。発表会な

どがあると、目標を持つて過ごせますし、なによ

りも会員とのコミュニケーションが楽しみです」と

練習の様子を思い浮かべながら、楽しそうに話していました。長く続いた理由は、和気あいあいとした会の雰囲気と無選別・無欠席で指導してくれた立谷登喜雄先生(相馬市)のお人柄とか。同会では、春に花見を兼ねて屋外練習や、イチ

お詫びください。

皆さんの声を

お寄せください

『町民のひろば』は、町民のみなさんに登場していただきます。菊地幸子さん(新地町)は、「勤めや子供が小さかったり、主婦としての都合で全員でそろって練習できなん本当に歌が好きなんです。今は、八月の成人式の出演や秋の『お母さん合唱祭』に向けて、練習に励んでいます」と話していました。

同会では、演歌が苦手といふ人も、コーラスならたくさんの人と楽しく歌えるので、気軽に参加を、と会員を募っています。申し込みは、菊地幸子さん(新地町)へ。

菊地幸子さん(新地町)

は、「勤めや子供が小さかったり、主婦としての都合で全員でそろって練習できなん本当に歌が好きなんです。今は、八月の成人式の出演や秋の『お母さん合唱祭』に向けて、練習に励んでいます」と話していました。

同会では、演歌が苦手といふ人も、コーラスならたくさんの人と楽しく歌えるので、気軽に参加を、と会員を募っています。申し込みは、菊地幸子さん(新地町)へ。

菊地幸子さん(新地町)

は、「勤めや子供が小さかったり、主婦としての都合で全員でそろって練習できなん本当に歌が好きなんです。今は、八月の成人式の出演や秋の『お

小川のザクロ（石榴）

「希望と不死」の象徴

私たちの周りには、外国から入って来て、日本の風土に溶け込んで定着している樹種がかなり見受けられます。今回紹介するザクロもその一つで、もともとはペルシャ地方原産のものが中国を経て平安時代に日本へ入って来たと言われており、今ではすかり定着して日本庭園などの主要な樹木となっています。

ザクロの花の梅雨の雨に打たれる風情は格別のものがある一方、梅雨明けの真夏の青空をバックに、まっ赤に咲き誇る様は強い生命力さえ感じさせてくれます。秋の深まりとともに熟す果実も独特の雰囲気をもっており、ヨーロッパでは古代から「希望と不死」の象徴として大切にされて来たと言われています。町内でもあちこちに見られ、旧家の庭などにはかなりの古木があります。

中門の内なる庭や石榴咲く
（渭城）

メモ

ザクロ科ザクロ属、実ザクロは花が一重で紅。花ザクロは八重で紅、白、淡紅、絞りなどがあり実はならない。

ザロもそんな中の一本で、祖先が植えたもので四代以上前で年代は分からぬとのことですが、根廻りが百三十センチを越えるところから二百年程度は経ているものと思われます。玄関前に座った姿は存在感があり、ザクロとしては代表的な名木といえそうです。

樹種名	ザクロ(石榴)
所在地	新地町小川字榎下36
所有者	小野大治さん
樹齢	不明
目通り	117cm
根高	134cm
冠樹	約5m
その他	実ザクロである

人口&世帯

7月1日現在 ()内は前月比	
人口	9,032人 (-4)
男	4,412人 (-8)
女	4,620人 (+4)
世帯数	2,237世帯 (+9)

水道料		町民税	国民年金	国民健康保険税	第2期	今月の納稅等
第1～第6行政区			8月分			

西長日誌 荒和英

和英

広域議会
電源三法推進協議会総会
相馬野馬追振興陳情

杉目地権者会、町民の翼
打合せ

海上自衛艦一日司令
国道113建設促進協議会総会、県建設技術センター

海水浴場開き
海上自衛艦一日司令

監査
相馬港建設促進期成同盟会総会

19日 17日 16日
14日 9日 8日
打合せ

19日 17日 16日
14日 9日 8日
打合せ

こちら 編集室



▼「只見ダム開発が始まり、大勢の人がやってきて、村は活気づいた。農作物は何でも売れた。そのうち農家は作らないで買ってきて売るようになつた。開発が終わつたら、潮が引くようになつた。それが切つ掛けとなつて、全国に先駆けて、ふるさと運動に取り組んできた会津の三島町を今も時々思い出します。▼県土の地域開発は不可欠ですが、この大型プロジェクトを“過性”に終わらせてはいけない、その願いを込めて今月号は相馬地域開発をおくりします。(M・S)